

中央卸売市場会計（平成30年度）

（1）財政状況

市場事業は、地方公営企業法の財務規定等の一部適用事業として、独立採算を原則に運営している。

中央卸売市場では、これまで、生鮮食料品の需要の増大と社会環境の変化等に対応するため、新市場の建設や、既存市場の整備などに毎年度多額の投資を行ってきた。その結果、施設の維持管理経費や減価償却費、企業債利息などの経費が著しく増大したが、一方で、市場の主たる収入である使用料については、物価対策上の配慮から昭和32年以来、18年も据え置かれた時代もあり、費用を賄うに足りる収益を得ることができないまま経営されてきた。

こうしたことから、市場の財政収支は、旧江東市場の土地売却があった昭和59年度を除き昭和46年度から昭和62年度まで赤字が続いた。昭和63年度に旧神田市場等の跡地売却により、昭和63年度から平成6年度まで黒字となったが、営業費用の増加と受取利息の低下などにより、平成7年度に再び赤字となり、それ以後、赤字幅が拡大した。

このため、今後の施設整備財源を確保し、市場財政の健全化を図るため、経費節減等事業の効率的運営を徹底するとともに、平成12年4月に16%（12年度8%、13年度14%、14年度16%の段階的实施）の使用料改定、平成26年4月に消費税率及び地方消費税率の引上げに伴う使用料改定を行った。こうした取組により、平成12年度から平成27年度にかけて、特別損失の生じた平成16年度、平成19年度及び平成26年度を除き、黒字で推移してきたが、平成28年度は、豊洲市場への移転準備経費が増加したことなどから、赤字となっている。

（2）平成30年度予算概要

中央卸売市場は、都民の日常生活に不可欠な生鮮食料品等の円滑な流通と安定した供給を確保するため重要な役割を担っている。このため、平成30年度予算においても限られた財源を重点的、効率的に配分して市場の抱える重要課題に対応できるものとした。

支出予算の総額は、801億9千7百万円で、平成29年度に比べ114.8%、金額で428億6千万円の増加となっている。

収益的収入と資本的収入の合計額は、311億9千7百万円となっており、収入と支出の差し引きでは490億円の支出超過となっている。

ア 収益的収支

収入としては、営業収益が172億9百万余円で、内訳は、売上高割使用料が35億7千万余円、施設使用料が86億4百万余円となっている。

営業外収益は、64億2千8百万余円で、内訳は、受取利息等が18億1百万余円、一般会計補助金が46億2千7百万円となっている。

これら営業収益、営業外収益を合わせた収益的収入の合計は、236億3千8百万円である。

支出については、市場事業費の総額が635億5千6百万円で、そのうち、営業費用が344億6百万余円である。

営業費用のうち、人件費及び一般管理等に要する経費である管理費が249億4百万余円、業務の指導・監督及び生鮮食料品の統計資料作成等の経費である業務費については、1億7千3百万余円である。

減価償却費、資産減耗費は、固定資産の減価償却及び除却損等を計上し、93億2千8百万余円である。

営業外費用は、44億3千2百万余円であり、このうち、生鮮食料品の流通の安定及び消費者への食生活情報の提供等に要する経費である生鮮食料品流通対策費が、33億9千5百万余円となっている。

支払利息及企業債取扱諸費は、８億６千２百万余円で、その他、繰延勘定償却、消費税及地方消費税、雑支出を計上した。

また、固定資産の除却損、市場関係業者への補償費等として、特別損失を247億１千５百万余円計上している。

イ 資本的収支

収入は、企業債が67億５千７百万円、国庫補助金が８億１百万円、その他資本的収入が１百万円で、合わせて75億５千９百万円となっている。

支出は、市場施設の整備等に要する経費であり、総額は166億４千１百万円である。

このうち、建設改良費は134億９千６百万余円であり、内訳は施設拡張費が83億７千４百万余円、施設改良費が39億８千９百万余円、工器具・備品等の購入に充てる資産購入費が５千６百万余円、長期間の建設事業に係る企業債利息並びに手数料及び取扱に要する経費である建設利息は10億７千６百万余円である。

施設整備については、後述のとおり、平成29年２月に策定し、平成30年５月に改定した「第10次東京都卸売市場整備計画」に基づいて進めているところであり、今年度予算で計上した市場別の主な施設整備内容は以下のとおりである。

市場名	内 容
豊 洲 市 場	５・６・７街区駐車場棟ほか便所整備工事
食 肉 市 場	大動物ＡＢ生体搬入場舗装打替工事
大 田 市 場	青果プロセスセンター整備事業
豊 島 市 場	卸売場天井塗装工事
淀 橋 市 場	卸売場エレベーター改修工事
足 立 市 場	冷蔵庫棟エレベーター改修工事
板 橋 市 場	青果部卸売場棟屋根防水加工工事
世 田 谷 市 場	中央棟屋根更新工事
北 足 立 市 場	管理棟外壁防水・塗装工事
多 摩 ニ ュ ー タ ウ ン 市 場	卸売場屋根改修工事
葛 西 市 場	花き棟オートレーター改修工事

その他、企業債元金の平成30年度償還分である企業債償還金等が30億６千３百万円、投資が7千２百万円である。

(3) 平成30年度中央卸売市場会計予算総括表

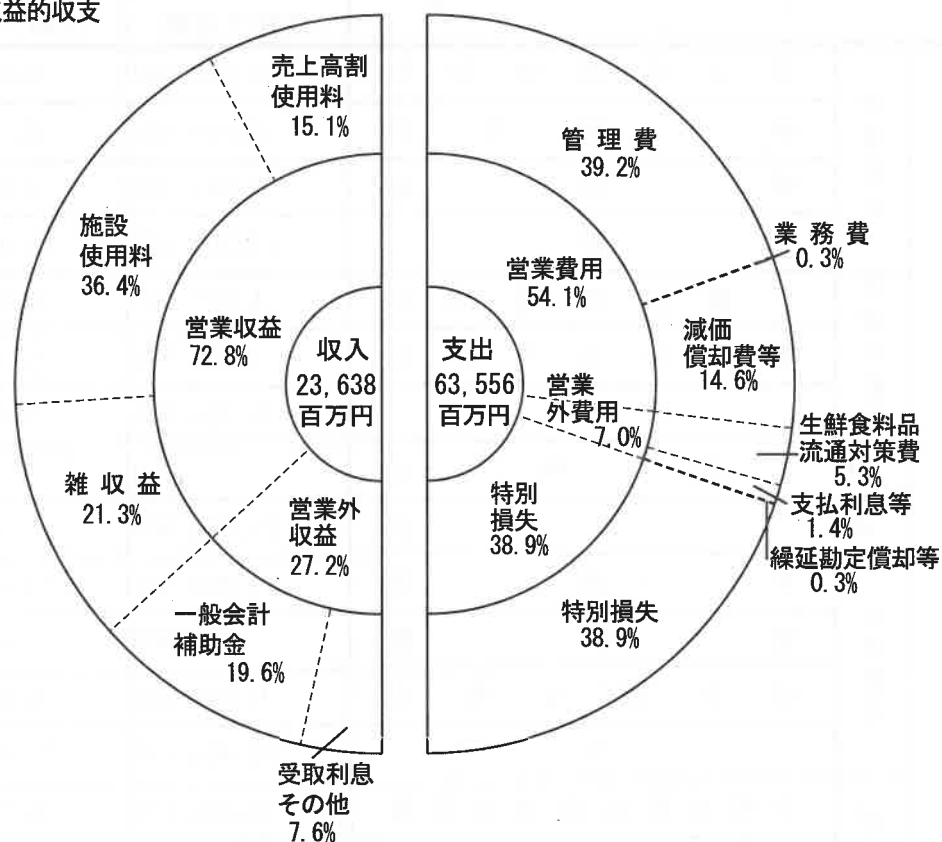
(単位：千円)

科 目				30 年 度 当初予定額	29 年 度 当初予定額	増 (△) 減
収 益 的 収 支	収 入	営業 収益	売 上 高 割 使 用 料	3,570,542	3,566,806	3,736
			施 設 使 用 料	8,604,458	8,519,194	85,264
			雑 収 益	5,034,426	4,395,050	639,376
			計	17,209,426	16,481,050	728,376
		営業外 収益	一 般 会 計 補 助 金	4,627,000	4,205,000	422,000
			受 取 利 息 そ の 他	1,801,574	1,282,950	518,624
			計	6,428,574	5,487,950	940,624
		特 別 利 益		0	0	0
		合 計		23,638,000	21,969,000	1,669,000
	支 出	営業 費用	管 理 費	24,904,321	16,249,697	8,654,624
			業 務 費	173,889	144,461	29,428
			減 価 償 却 費 等	9,328,286	6,687,886	2,640,400
			計	34,406,496	23,082,044	11,324,452
		営業外 費用	生 鮮 食 料 品 流 通 対 策 費	3,395,436	4,515,562	△ 1,120,126
			支 払 利 息 及 企 業 債 取 扱 諸 費	862,424	92,725	769,699
			繰 延 勘 定 償 却 等	174,741	196,669	△ 21,928
			計	4,432,601	4,804,956	△ 372,355
		予 備 費		1,000	1,000	0
		特 別 損 失		24,715,903	0	24,715,903
		合 計		63,556,000	27,888,000	35,668,000
		収 支 差 引 額			△ 39,918,000	△ 5,919,000
資 本 的 収 支	収 入	企 業 債		6,757,000	0	6,757,000
		一 般 会 計 出 資 金		0	0	0
		国 庫 補 助 金		801,000	0	801,000
		そ の 他 資 本 収 入		1,000	2,000	△ 1,000
		計		7,559,000	2,000	7,557,000
	支 出	建 設 改 良 費		13,496,457	6,011,683	7,484,774
		企 業 債 償 還 金		3,063,000	3,287,000	△ 224,000
		投 資		72,000	140,774	△ 68,774
		国 庫 補 助 金 返 納 金 等		9,543	9,543	0
		計		16,641,000	9,449,000	7,192,000
	収 支 差 引 額			△ 9,082,000	△ 9,447,000	365,000

(注) 資本的収入が、資本的支出に対し不足する額は、「損益勘定留保資金その他」をもって補てんする。

(4) 平成30年度中央卸売市場会計予算の構成割合

ア 収益的収支



イ 資本的収支

